



# 平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 カナレ電気  
 コード番号 5819 URL <http://www.canare.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 尾羽瀬 正夫  
 (氏名) 小淵 敦  
 TEL 045-470-5503  
 配当支払開始予定日 平成24年9月11日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	4,160	4.3	478	12.8	520	17.2	304	1.0
23年12月期第2四半期	3,988	—	424	—	443	—	301	—

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 351百万円 (0.8%) 23年12月期第2四半期 349百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	45.11	—
23年12月期第2四半期	44.64	—

当社は、平成22年12月期に決算日を毎年3月31日から毎年12月31日に変更したため、平成22年12月期第2四半期につきましては、国内は6ヵ月(平成22年4月1日～平成22年9月30日)、海外は9ヵ月(平成22年1月1日～平成22年9月30日)を連結する変則的決算となっております。したがって平成23年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	8,541	—	7,344	—	—	85.9
23年12月期	8,363	—	7,105	—	—	84.9

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 7,344百万円 23年12月期 7,105百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年12月期	—	12.00	—	13.00	25.00
24年12月期	—	13.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,730	7.6	930	32.8	970	20.8	600	8.1	88.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期2Q	7,028,060 株	23年12月期	7,028,060 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期2Q	278,228 株	23年12月期	278,211 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期2Q	6,749,842 株	23年12月期2Q	6,749,849 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、慎重に策定しましたが、当社で現在入手可能な情報から得られたものを前提に策定しており、リスクや不確定要素が含まれております。実際は、さまざまな要因の変化から、予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知置ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	10
海外売上高 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期の当社グループを取り巻く経営環境は、日米市場は緩やかな回復傾向となったものの、中国市場が欧州経済減速の影響を受けるなど地域によるばらつきがみられ、また価格下落や長引く円高など、全体的には厳しい状況で推移しました。

このような中、当社グループは部品の内製化や海外調達によりコストダウンをはかると同時に新興国での販売強化に注力してまいりました。

この結果、円高によるマイナス影響を受けつつも、売上高4,160百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益478百万円（前年同期比12.8%増）、経常利益520百万円（前年同期比17.2%増）、四半期純利益304百万円（前年同期比1.0%増）と増収増益となりました。

主なセグメント売上高、営業利益は次のとおりです。

(日本)

年度末（1～3月）需要が一時的に増加したことや東日本大震災のマイナス影響がなくなったことから緩やかな回復傾向となり、売上高2,665百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益（営業利益）354百万円（前年同期比41.4%増）となりました。

(米国)

米国における需要が回復傾向となったことから売上高360百万円（前年同期比12.3%増）、セグメント利益（営業利益）16百万円（前年同期比31.7%増）となりました。

(韓国)

売上高は前年同期比2.1%減の416百万円（現地通貨ベースでは5.6%増）、セグメント利益（営業利益）は売上総利益率の悪化により14百万円（前年同期比48.0%減）と、円高によるマイナス影響や価格下落により減収減益となりました。

(中国)

放送市場の需要減、価格下落及び円高の影響によって売上高は343百万円（前年同期比24.4%減）、セグメント利益（営業利益）62百万円（前年同期比37.7%減）と減収減益となりました。

(シンガポール)

業績は順調で、売上高231百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益（営業利益）42百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における財政状態につきましては、年度末の売上増加にともなう債権回収増により現金及び預金が増加し、資産合計が8,541百万円となりました。負債合計は買掛債務減少によって1,197百万円となりました。純資産合計につきましては、四半期純利益計上による利益剰余金増加により238百万円増の7,344百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績は、日本国内の年度末需要が一時的に増加したことが影響し増収増益傾向となっておりますが、下半期も円高、欧州債務問題等のリスクは継続すると予想され、現時点での通期業績予想を修正する必要はないと認識しております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### （追加情報）

#### 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,712,885	4,025,247
受取手形及び売掛金	1,040,571	917,904
商品及び製品	1,008,678	1,195,472
仕掛品	41,453	30,396
原材料及び貯蔵品	178,504	141,317
その他	523,793	373,199
貸倒引当金	△3,149	△3,401
流動資産合計	6,502,738	6,680,135
固定資産		
有形固定資産		
土地	755,108	745,140
その他	2,106,768	2,186,695
減価償却累計額	△1,660,596	△1,708,242
有形固定資産合計	1,201,280	1,223,593
無形固定資産	6,016	5,403
投資その他の資産	653,621	632,634
固定資産合計	1,860,918	1,861,631
資産合計	8,363,656	8,541,767
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	519,545	439,582
未払法人税等	132,190	166,235
賞与引当金	62,665	72,907
役員賞与引当金	9,897	5,371
その他	329,014	296,337
流動負債合計	1,053,312	980,434
固定負債		
退職給付引当金	3,092	3,399
役員退職慰労引当金	77,820	75,927
その他	123,539	137,856
固定負債合計	204,452	217,183
負債合計	1,257,765	1,197,617

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,047,542	1,047,542
資本剰余金	1,175,210	1,175,210
利益剰余金	6,138,465	6,329,251
自己株式	△335,031	△335,055
株主資本合計	8,026,188	8,216,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,961	△18,255
繰延ヘッジ損益	1,610	471
土地再評価差額金	△371,051	△371,051
為替換算調整勘定	△523,895	△483,964
その他の包括利益累計額合計	△920,296	△872,799
純資産合計	7,105,891	7,344,150
負債純資産合計	8,363,656	8,541,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	3,988,852	4,160,739
売上原価	2,527,746	2,616,737
売上総利益	1,461,106	1,544,001
販売費及び一般管理費	1,037,084	1,065,433
営業利益	424,021	478,568
営業外収益		
受取利息	10,470	12,106
受取配当金	2,822	3,682
為替差益	2,838	7,843
不動産賃貸料	3,510	3,000
投資事業組合運用益	—	14,040
その他	6,778	5,732
営業外収益合計	26,421	46,406
営業外費用		
支払利息	260	—
不動産賃貸原価	1,609	1,880
投資事業組合運用損	4,183	1,414
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	—	23
その他	575	1,343
営業外費用合計	6,627	4,665
経常利益	443,815	520,309
特別利益		
固定資産売却益	377	—
助成金収入	34,500	—
特別利益合計	34,877	—
特別損失		
減損損失	843	11,178
特別損失合計	843	11,178
税金等調整前四半期純利益	477,848	509,131
法人税、住民税及び事業税	153,333	172,179
法人税等調整額	23,208	32,495
法人税等合計	176,542	204,674
少数株主損益調整前四半期純利益	301,306	304,456
四半期純利益	301,306	304,456



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	301,306	304,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,551	8,705
繰延ヘッジ損益	—	△1,139
為替換算調整勘定	50,346	39,930
その他の包括利益合計	47,794	47,497
四半期包括利益	349,101	351,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,101	351,953
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	2,441,252	320,996	425,291	454,729	55,591
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,177,868	—	—	375,695	—
計	3,619,121	320,996	425,291	830,425	55,591
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	250,489	12,428	27,035	99,846	5,613

	報告セグメント		合計
	シンガポール	欧州	
売上高			
外部顧客への売上高	222,869	68,121	3,988,852
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,553,564
計	222,869	68,121	5,542,416
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	38,589	△1,367	432,636

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント合計	432,636
セグメント間取引消去	10,913
棚卸資産の調整額(注)	△22,890
その他の調整額	3,362
四半期連結損益計算書の営業利益	424,021

(注) 表示方法の変更

前第2四半期連結累計期間において、報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(以下「差異調整に関する事項」といいます。)の「その他の調整額」に含めていた「棚卸資産の調整額」は、当第2四半期連結会計期間において、相対的に重要性が増したため、区分掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の差異調整に関する事項の組替えを行っております。この結果、前第2四半期連結累計期間の差異調整に関する事項の「その他の調整額」として表示していた△19,528千円は、「棚卸資産の調整額」△22,890千円、「その他の調整額」3,362千円として組替えております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	2,665,037	360,555	416,036	343,544	72,808
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,073,563	—	—	350,445	—
計	3,738,601	360,555	416,036	693,990	72,808
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	354,270	16,368	14,049	62,136	11,812

	報告セグメント		合計
	シンガポール	欧州	
売上高			
外部顧客への売上高	231,694	71,061	4,160,739
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	1,424,009
計	231,694	71,061	5,584,749
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	42,930	△5,471	496,096

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント合計	496,096
セグメント間取引消去	3,896
棚卸資産の調整額	△26,863
その他の調整額	5,439
四半期連結損益計算書の営業利益	478,568

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間において、「日本」セグメントで、当社の名古屋本社に隣接する遊休の土地について地価が下落したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては11,178千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 海外売上高

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）

	米州	アジア	欧州	その他の地域	計
海外売上高（千円）	363,551	1,209,464	92,914	106,393	1,772,324
連結売上高（千円）	—	—	—	—	3,988,852
連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	9.1	30.3	2.3	2.7	44.4

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）

	米州	アジア	欧州	その他の地域	計
海外売上高（千円）	398,321	1,086,365	81,085	125,784	1,691,556
連結売上高（千円）	—	—	—	—	4,160,739
連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	9.6	26.1	1.9	3.0	40.7

（注）1. 海外売上高は、顧客の所在地を基礎とし、地域によって分類しております。

2. 地域に関して、その内訳は次のとおりであります。

米州……………米国、カナダ、中南米諸国

アジア……………中国及び香港、韓国、シンガポール、タイ、インドネシア、台湾、インド等

欧州……………フランス、イギリス、イタリア等

その他の地域…上記以外